

平成 22 年度「平成の名古屋市民の森づくり」

【日 時】 平成 22 年 5 月 15 日（土） 9：00～15：00

【場 所】 木曽町福島 戸立町有林

【参加者数】 259人

【内 容】 名古屋城本丸御殿復元事業として木曽ヒノキが材料として使用されることから、使用するだけでなく、植栽、育樹をおこない上流域の豊かな自然環境を将来に残そうと、木曽町町有林で「平成の名古屋市民の森づくり」が昨年度に引続き開催されました。

名古屋市から一般市民約 200 名（バス 5 台）と職員 12 名、木曽地域から木曽広域連合長を含め 47 名が上下流交流の一環として、名古屋市民の植樹作業や各種体験に協力のため参加しました。

高速道路工事のためバスの到着が 40 分ほど遅れ、11 時くらいから開会式をおこないました。開会式では名古屋市市民経済局長、木曽広域連合長のあいさつ、地方事務所林務課による諸注意、体操がおこなわれました。

開会式終了後、各班にわかれ植樹をおこないました。晴天のため順調に作業も進み、またけが人も無く無事終了することができました。

植樹作業終了後、一般コース（120 名）の方は上松町の赤沢自然休養林に移動して森林鉄道や散策を楽しみました。とことんコース（80 名）の方はその場で昼食をとり、その後残っている植樹箇所での作業をおこないました。植樹終了後は記念看板周辺の枝打ちなど周辺整備をおこない、道具の片づけまで行って終了となりました。皆さん疲れも見せず森林整備、森林浴を楽しみ大変満足そうでした。

（開会式の様子）



(班ごとに記念撮影)



(植樹の様子)



伐採の様子



道具を洗っている様子

